

兵庫県立津名高等学校

同窓会阪神支部報

支部創立40周年記念号

第17号

発行所

神戸市灘区鶴甲 2-11-4-402
小久保澄夫 内

津名高校同窓会阪神支部

TEL & FAX

(078) 842-0425

印刷所：共栄印刷株式会社
TEL (078) 341-0316

「ふるさと」への想い

支部長
小久保 澄夫
(高十三回生)

支部会員の皆様、お元気ですか？今年支部発足四〇周年という記念の年です。当初より、その発展のためご尽力いただいていた先輩の皆様方には厚く御礼申し上げます。本号別稿ご案内の通り、八月二十六日（日）神戸三宮「東急イン」にて記念の総会を予定しておりますので、多数のご参加をお待ちしております。なお、当日は同窓会本部総会、合同懇親会も行います。

さて、あの東日本大震災から早くも一年が過ぎました。阪神・淡路大震災の時よりも被害は遥かに甚大で、かつ複雑な問題をたくさん抱え、その復興にはものす

識して淡路島からの発信記事等を皆様にお伝えするような誌面になっています。日頃つい忘れがちな島の存在を思い出していただければとても嬉しいです。年齢を重ねると「ふるさと」は遠くなり、同窓会を通じて、どうぞ皆様あの時代にタイムスリップしてみてください。そして淡路島を、津名高校を思い出して

てください。我々の人生はそこから始まったのですから。津名高校は創立一〇〇周年を、阪神支部は五〇周年を目指して活動が続いていきます。会員の皆様の変化、御協力、御援助を心よりお願い申し上げます。今年の夏も暑いことでしょう、皆様お体を大切に。過ぎてください。

阪神支部創立四〇周年

記念式典を迎えて

同窓会長
薄木 昌信
(高七回生)

盛夏の候、阪神支部、東京支部の会員の皆さん方におかれましては、益々御健勝のことと存じます。日頃は母校津名高校の発展のために何かと御尽力、御協力

年を迎えました。私としましても感慨無量で誠に喜びに堪えません。この阪神支部設立にあたっては、当時の同窓会長であつた三津啓祐氏（三回生）と初代の阪神支部長筆谷正二氏（三回生）のおかげで設立され、三代目支部長をされた故弁護士本田卓木氏（六回生）の時代に阪神支部報第一号を発行し、この支部報も今回で第一七号を迎えました。私も阪神支部設立のときから参画し、阪神支部

報発行につきましても、現在も編集委員を兼ねていますが、阪神支部の活動が母校の発展に寄与し、同窓会本部の活動に對しても多大の影響を与えてきたことは申すまでもありません。特に、これまでの阪神支部の役員編集委員の皆さん方の御苦勞に對しましては、頭が下る思いです。母津名高校も平成二十二年に創立九〇周年を迎え、その式典が一〇月一〇日に淡路市志筑の「しづかホー

ル」にて盛大に挙行され、八年後にはいよいよ創立一〇〇周年を迎えることになりました。そして、この一〇〇周年記念式典に向けて、昨年十一月十一日に開催された本部役員会において、第一回目の準備委員会を行い、今後継続して準備委員会を開催することになりました。現在のところ、兵庫県内の県立高校一二八校のうち、一〇〇周年を終えたのは二〇校、近うちに一〇〇周年を迎えるのは六

校で、これらの他校の状況を調査中です。これからは、同窓会としましては、この八年後の母校及び同窓会の一〇〇周年記念式典という大きな目標に向けて活動をし、阪神支部、東京支部の皆さん方と共に、一〇〇周年記念式典を目的といたして迎えたいと思っています。今後とも母津名高校の発展のために御尽力、御協力賜りますようお願いいたします。私の御挨拶とさせていただきます。

津名高等学校同窓会阪神支部総会
津名高等学校同窓会本部総会

会 場：神戸東急イン Tel:078-291-0109

JR 三ノ宮駅南東徒歩 3 分

日 時：平成 24 年 8 月 26 日（日）

午前 10 時 00 分（受付）10 時 30 分総会

会 費：7,000 円

アトラクション：大歳久美子さん（47 回生）によるお琴の演奏
終了後 懇親会

二年に一度の故郷の便りを求めて、みなさまお誘いあわせて、ご出席ください。

なお出席の方は下記宛へお申込をお願いします。
(締切は 8 月 15 日です。)〒657-0011
神戸市灘区鶴甲 2-11-4-402
小久保澄夫 内
津名高校同窓会阪神支部
電話 & F A X
(078) 842-0425

京呉服

えびすがわ

夷川しめだ

京都御所と二条城のちようど中程に「夷川しめだ」のお店がございます。お気軽にお問い合わせ下さいませ。

〒604-0093

京都市中京区夷川通新町角

075-221-8139

岡川 都志子（高二十五回生）



淡路島三代目よし

● 昼の献立

彩葉コース 2100 円

● 夜の献立

恵味コース 5500 円

(その他ご予算に合わせて)

「ご予約最優先」

定休日 不定休

ご法要、お祝い事、会食
同窓会 歓迎会等のお集まりに

お問い合わせ ○七九九 六二〇 八四二



〒656-2131 淡路市志筑 3267-3

阪神支部四〇周年

おめでとうございます



県立津名高等学校校長
石川 秀之

この春、六六期生二〇〇名とともに県立津名高校に着任いたしました。新入生ともども、よろしく願いをいたします。また、同窓会阪神支部におかれましては、設立四〇周年を迎えられること、お祝いを申しあげますとともに、これまでのご支援に心より感謝申し上げます。

着任のご挨拶に県・市関係機関を訪問させて頂いた折、多くの本校卒業生にお声をおかけ頂きました。創立九二年の歴史と伝統、そして先輩諸氏の熱い思いを感じました。また、昨年の台風一五号に伴う大雨での「浸水災害復旧ボランティア」やギター・マンドリン部・ブラスバンド部による「ふれあいコンサート」たそがれコンサート」茶道部による「観摩会」など様々な地域貢献事業により、地域の皆さんからも「地域に愛される学

校」として、良い評価をいただいております。さて、入学式の日、薄木昌信同窓会長から、本紙への寄稿のご依頼があった際に平成二七年導入に向けて計画が進められています「県立高等学校の新通学区域」(学区再編)について触れるよう指示をいただきましたが、現時点で公表されている事項とそれに対する本校の対応方針について述べたいと思っています。

兵庫県内公立高校普通科の学区再編については、約五〇年ぶりの大改革で、現在の一六学区から五学区に再編されます。'06年滋賀県が全県一学区を導入し、続いて、'07年大阪府が九学区から四学区に統合、'09年には京都府が京都市・乙訓地域、東西南北四学区から南北二学区へ統合するなど学区の見直しがされてきました。この見直しは、ど

れも「生徒にとつて多様な選択肢」と「学びたいことが学べる環境」を確保することを目的とされています。淡路地区は、神戸学区・芦屋学区と一緒に、また隣接市区町である明石市と淡路市が相互の高校への受験が可能(自由学区)となります。このことにより、高校はそれぞれの特色を明確にし、「魅力ある学校づくり」をさらに推進・発展とともに「地域に愛される学校づくり」を求められています。とりわけ、神戸・明石と隣接する淡路市にある本校にとって、両地区の学校に負けない「魅力」と「特色」を発信しなければなりません。

過日、門 康彦淡路市長とお話をさせて頂いたおりに「関西看護医療大学」や「関西総合リハビリテーション専門学校」などの教育機関の誘致を皮切りに、この「学びの環境」が整った市を学園都市化するウイჯಿಯを伺いました。この「よき環境」こそが、「魅力」「特色」の一つである

昭和五十年の夏、そして、平成二十年の夏

鍋谷 高弘
(高二十七回生)

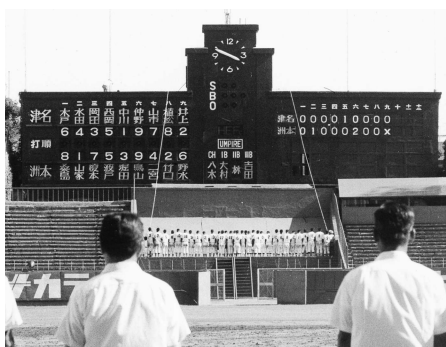
昭和五十年の夏、高校野球兵庫県大会決勝「津名対洲本」はいまだに語り継がれる出来事であったと思います。当時自分は三年在学中で、特にくやししい思いをした一人でした。

昭和五十二年四月、一浪の末なんとか早稲田大学入学。学生野球のメツカ神宮球場で野球の応援に明け暮れた学生時代を過ごしました。そこで淡路島出身と言うと、決まって聞かれた事が、「高校野球で、島同士の決戦があったんだって、」そして決まって答えねばならなかったのが、「負けた方の高校出身です」だった。あの夏の事は全国レベルで鳴り響き、

熱血新任体育教師として赴任してこられた松野先生が、在勤中という何かの「縁」がありまして、(二年後定年退職されました)さて気になる野球部はというと、これが大所帯、部員約七十名、元気で活気がありました。しかし実績はなかった。でもこの年の夏は記念大会ということで、東西に分かれた大会となりチャンスでした、しかし属する西地区とて、私学では東洋大姫路や市川、公立では強豪の社などがひしめいており、

ち進み、そして大一番の、対市川戦。こいまだかと思つていま、大方の予想を覆し快勝、これで勢いがつき、波に乗った、「もしかしたら」の声が少しわいてきた。そして今日も勝った、また勝った、一試合ごとに、ここまでかもしれない、とも思いつつ、ついに決勝まできた、あとひとつ。しかしその決勝の相手はなんと、洲本高校。この夏は圧倒的な打撃力で相手をまさに粉砕してきており、加古川北が相手ということ、甲子園が見えていたそう(後日談)。私にとってはあの夏の再現かとも思える相手「またしても」という思いであつた。しかしまたまた大方の予想を覆して加古川北が快勝、見事甲子園初出場をつかみとったのであつた。選手たちの努力、がんばりが見事であつたが、その上に、自分と松野先生の、あの夏の恨みの怨念が乗り移つて洲本の野望を打ち砕いた、あの夏の恨みを見事晴らしてくれたのだと自惚れています。さて甲子園では

残念ながら初戦敗退してしまいました。たが、加古川の町と共に熱い熱い「夏」をすごしました。更にその後平成二十三年「春」の選抜の大会にも実力で出場、大会屈指の剛速球投手を相手に快勝するなど、合わせて2度加古川北の校歌を甲子園で歌うことができました。またその夏は決勝まで進みながら、延長引き分け再試合という激闘の末敗れました。残念。さてさて気になるわが「津名」はというと、忘れてません。加古川在住のため、明石球場、高砂球場、時には淡路佐野球場まで可能な限り試合があるときは応援に駆けつけています。同級生野球部出身の中川君の息子が選手で出ていたり、「時はながれたな」と思いつつ、「津名もいつの日か」を願っています。加古川北も津名も同じ県立高校、やはりひたすら「気」のはいつた練習しかないと思います。「今日はこれでもいい、か、さすればきつ」と「甲子園」は近づいてきます。



50年県予選決勝のスコアボード

成二十年四月、異動で、県立加古川北高校へ赴任することになりました。しばらくして気づいたのですが、自分が津名高在学時、

虎視眈々と甲子園をねらう激戦区に違ひありませんでした。下馬評にもあがらなかった加古川北でしたが、勝

薄木総合法律事務所

弁護士 薄木 昌信
(高七回生)

弁護士 薄木 英二郎

弁護士 髭野 淳平

事務所 大阪府北区西天満四丁目六番三
号 ヴェール中之島北九〇一
号 (大阪地方裁判所北門前)

TEL 大阪 〇六 (六三六五) 五五二番
FAX 大阪 〇六 (六三六五) 八二四一

司法書士 筆谷 正

事務所 西宮市中央町一番五号(和風ビル二〇六号)
(国造り家 市役所前駅北)一五〇イビル
山手線南西角

電話 番号 (〇七九八) (三六) 五五一番
FAX (〇七九八) (三四) 三〇八六

住所 西宮市甲子園口北町二番十一号
電話 番号 (〇七九八) (六七) 五〇九番
自宅 淡路市 大谷 八六二番地

鍋谷 高弘
(高二十七回生)

尾崎 田鶴子
(高六回生)

〒59000 摂津市千里丘四一十三二七
TEL 〇六 (一六三八九) 四〇七〇

オキタ務経営事務所
社会保険労務士 沖 正典
(高九回生)

〒65007 神戸市垂水区土高九二丁目一四〇五
TEL/FAX 〇七 (八二七〇) 八三六六一

柴生 進
(高十回生)

〒66003 川西市美園町七十四

支部長時代の思い出

阪神支部顧問
立花 和也

(高五回生)

阪神支部が四〇周年を迎えたことは誠に喜ばしいことです。この間、立ち止まることなく、活動が継続できたのは、素晴らしいことです。お世話された役員の方々と同窓生諸兄のご協力の賜物と感謝いたします。

◆支部長時代

総会を中心に回想してみます。

四〇年前の結成総会には、三〇〇名近い同窓生が集いました。初代支部長に、発起人代表の筆谷 正氏(高三回)を選出。続く懇親会では、旧交を温めあい大盛況でした。

その後十四年間、筆谷支部長のリーダーシップのもと、土台が築かれ、組織として継続発展してきました。私も微力ながら、副支部長として、他の役員さんと共にお手伝いをしてきました。役員会はいつもの芦屋川に近い会館で開かれていました。

ある日の役員会で、筆谷支部長の勇退発表と、次期支部長の人選を協議しました。予期せず、私が

同窓会長に、荻田好一氏(高校五回)が就任しました。

「記念講演」
講師 長尾 晃
演題 話し上手

「特別講演」
講師 小川元延
演題 パイプオルガンの完成まで

※支部総会に記念講演が慣例となっていました。

☆昭和六三年九月二十五日
神戸北野六甲荘において支部単独開催、出席者一八八名。

本部総会が、八月に地元で開催したので、九月開催となりました。事業計画に、本部の情報提供と活動協力(七〇周年記念事業に重点)、支部基盤の強化と活性化、他支部との友好協力などを決めました。

「記念講演」
講師 三杉隆俊
演題 海のシルクロード
旧職員の廣田昭夫先生が、当寺六甲荘の支配人をされていました。先生には野球部時代に大変お世話になりました。

「支部結成ラッシュ」
この年は二月に東淡支部、六月には待望の東京支部と相次いで誕生し、

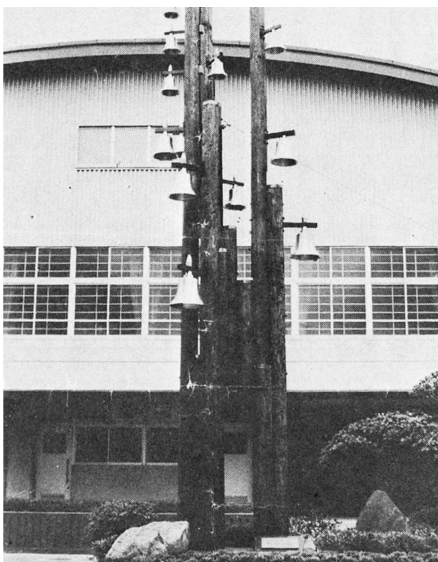
お祝いに駆けつけました。この年、同窓会長に三津啓祐氏(高校三回)が再登板しました。平成二年九月二二日(一九九〇)

◆カリオンの完成

七〇周年の記念式典にあわせて、母校で開催しました。当日は午前一時から記念式典が始まり、広場では県警音楽隊の演奏、カリオンの披露に感動し、また旧体育館では各文化部の展示や、創立以来の資料展示を見学しました。総会は十二時から

軽食が提供されました。当初、同窓会本部としては、カリオン建設に必要な、多額の負担金を心配していました。三津会長も出席された阪神支部役員会で、積極的な協力を約束、この熱意が全体の基金集めを牽引しました。※同窓会報⑪号に当時の三津会長と小川教諭がカリオンの完成までの経過を詳しく書かれております。

☆平成四年九月二七日・場所は、神戸の名門オリエンタルホテル
行事はやりませんでした。支部結成二〇周年を皆様の参加で盛り上げと呼びかけました。本部総会と同時開催でもあり、多数の参加者で大盛況でした。特筆すべきは当時、県会議員で活躍中の小久保正雄氏(故人、高校四回、前同窓会長、旧北淡町長)から「母校の校舎移転の用地買収費に予算が付いた」と嬉しいニュースがありました。新校舎が決まれば、懸案の同窓会館の建設にも拍車がかかりそう



※写真は旧校地のカリオン塔 平成二年完成

図書館(新体育館前三号館二階)で阪神、本部総会と続きました。今回の会費は無料で、

阪神支部創立満二〇年を迎えました。世間は、バブル経済崩壊の不況下でもあり、特別な

です。☆平成六年九月一日・場所はホテルシュレナで本部と合同開催でした。

私はこの総会で、支部長を退き、第三代支部長に本田卓禾氏(故人、高校六回、弁護士)が就任しました。故 本田卓禾氏は、支部長就任後、母校訪問の企画や、平成八年に「同窓会阪神支部報」を創刊するなど支部活動はもとより、津名高同窓会の発展に大きな足跡を残されました。個人的にも、同郷(旧育波村)のよしみもあり、大変お世話になりました。

◆東京支部の思い出
初代支部長の福永博氏(高五回、故人)や同期の友人らが設立の中心となりました。荻田同窓会長、小田事務局長ら同期の仲間と共に上京、祝福しました。その後、平成三年三月の総会に、三津会長・平田副会長と三人が参加しました。淡路産イカナゴの釜揚げを新幹線に持ち込み上京、大変好評でした。

おみやげにイカナゴ、この選定はさすが三津さんでした。TVの人氣ニュースキャスター(現在ジャーナリストで)活躍)桜井よし子女士の記念講演を身近で拝聴、懇親会も盛り上がりしました。東京支部の皆さんの、母校や故郷への熱き思い肌で感じました。

◆研修旅行

本部主催の研修旅行も楽しかったです。竜野の鮎料理と書写山、白浜温泉、信楽と永源寺方面、などが記憶にあります。

私は故郷に近い須磨に住み五〇年、喜寿を迎え残り少ない人生です。淡路で暮らした一八年、なかでも津名高校時代が一番印象深いです。同窓生が絆となり、多くの友人、知人ができ、生涯の財産となりました。八年間の支部長時代には、当時の役員同期生等々、多くの方々にご支援を頂きました。

皆様、ありがとうございました。最後に、同窓生諸兄のご健勝と、あわせて母校・同窓会の発展をお祈りします。

立花 和也
(高五回生)河合 春子
(高五回生)保宗 幸夫
(高六回生)矢野 端
(高七回生)岩井 吉人
(高十二回生)南 正光
(高十四回生)北川 映子
(高十五回生)松野 聰子
(高十五回生)東京淡路会理事
津名高校同窓会東京支部支部長〒354-0414 埼玉県川越市寺尾六四一三
TEL 〇四九二四一八三三〒650-0201 神戸市北区有野台四一〇一八
TEL 〇七八九八二一三二一八
FAX 〇七八九八二一三二一八

淡路会ゴルフと仲間達

灰野 富雄
(高十一回生)

このゴルフ親睦会は振り返ってみると、平岡、瀬木、山崎、私の同級生四人が二〇〇二年五月二十一日に、オリエンタルGCでゴルフしたのが始まりだった。六月にも四人でプレーしたのですが、一組で淋しい物足りなく感じてメンバーを増やそうと話合った。

そこで誰を誘うかの中で、まず同級生に絞って進めて行く事にした。高校時代の部活、野球、バスケット、サッカー、テニス、体操、卓球等でゴルフをやっていたような人物を探し声を掛け、結果、九月には一組増え二組でプレー出来た。翌年三月に、開催は年六回、場所は淡路からも近くて交通の便も良い、神有CCと話合いで決定し、五月の第五回コンペには淡路からの参加者も増え十二名となった。こうなると最初は同級生主体だった

「淡路」で名乗った。同級会」として、淡路島出身者と門戸を広げ同級生以外のメンバーも加わってきたので、二〇〇三年九月第七回よりコンペ名を「淡路会」と改称し現在に至っている。今年七月で六十回を迎え、人間では還暦に当る年になります。この十年間で悲しい出来事が三回起った。それは渡辺、児玉、浜野と三名の友が逝去された事だ。これからまだまだやりたいた事、楽しみが沢山あったと思うと我々も悔しさ、悲しみでやり切れない。現在メンバーの中にも体調不良でゴルフを止めている者が居るので、改めて健康の有難さを実感する。喜ばしい事も一回あった。二〇〇三年九月、第七回にホールインワンが出た事だ。その人は現在三回も達成しているの事。お目出たい。この会は先程書いたこと以外に、

現在メンバーは淡路から参加の三名を入れて十六名だ。この会に参加してみたいゴルフ好きな人は大歓迎。上手、下手は二の次で、健康維持のためにゴルフするの

「いつかきつと帰り
たくなる街づくり」

淡路市長

門 康彦
(高十五回生)

フェイスブックで、東京の青年が語りかけてきました。都会の大学で学び、故郷、淡路島に帰ろうとしたら就職の場が無かった。望郷の念は有るが叶わない。「市長、そういう街づくりを目指して下さい」という言葉でした。一方、市長と明日を語る会では、「ここに住んでいますが、子供達の将来を思うと不安です。環境の良いのは分かります。しかし、生活の拠点としては課題が多すぎる」という、悲痛な思いを聞かれました。島全体が回り親類だらけ、結局、個人の利益優先の田舎社会の壁は越えられないという

では、ゴルフする為、コンペがあるから健康に注いでみようと思ってる人どう。当たり前だが、契約金、入会金なし。問い合わせは阪神支部五熊君まで。

鳥が物理的に島でなくなり、島の状態が継続する中で、身の丈に合った「いつかきつと帰りたくなる街づくり」を実現するにはどうしたらいいのかわからない。過疎、そして急激な少子化が進む淡路島、人口も一四万人台となり対策を急がなければならぬのに、小さな政府、淡路島一市の実現はなかなか進まない。島とは言っても、気候は温暖、自給率は一〇〇%を超え、一時間以内に大阪に到着出来る利便性は、島民から危機感を常に遠ざけてきました。最近では架橋により犯罪も多様化してしまいましたが、それでも玄関の鍵を施錠しない家庭が少なくありません。車や自転車なども同様です。そうした環境は、静かに島を蝕み、閉塞状態へと追い込んでいます。一番の課題は、「それでもいいんだ」という民度です。諦観ではなく、「何が悪いんだ」という現状認識が多くなる市民に有ります。そうした環境の中で、時の淡路市長として、何を成

さねばならないか？過去、現在そして未来を考察してみたい。まず二期目を振り返ってみたい。平成二十一年四月二十七日の朝刊の見出しは、「行財政改革再び託す」でした。白紙委任を含めて、71.3%の支持率は貴重なものでしたが、対立候補から批判されたこととされる事柄は、この事に尽きます。それは神戸新聞、西尾和高記者のコメントです。「二人の新人候補から、独断専行、市民目線に立った市政を、市民に冷たすぎる」と批判されたが、他陣営から「行政マンとしてプロ中のプロ」と評価される手腕が評価された大差の結果となった」と有りました。その批判というものには、具体的な内容は全く無く、政策討論を提案した、二陣営からたが、何の反応も無かったのですが、その事自体が別の課題として残ります。さてスローガン、マニフェスト等ですが、平成一七、二〇年一二期目のスローガンは、「明石海峡大橋の無料化」

でした。マニフェストは、「ふるさと五弁の花の集約」。それらの実績概要は、一、五町の融和。二、赤字の回避。三、バランスに配慮した整備でした。平成二十一、二十四年二期目のスローガンは、「世界的観光立島、淡路市」でした。マニフェストは、「身の丈に合った市政運営」。それらの実績概要は、一、企業誘致の展開。二、観光施策の推進。三、行財政改革の断行でした。そして、平成二五、二八年の次の段階では、スローガンが「淡路島を世界遺産に」と展開し、マニフェストが、「いつかきつと帰りたくなる街づくり」へと繋がります。その目標は、一に後継者対策(教育の振興)二に小さな政府と集約から散会へ。(施策の検証、見直し)三に淡路島振興への貢献施策、明日に架ける橋、淡路島一市への展開とならずです。GO FORWARD WITH 静かにそして着実に、淡路市は歩み始めています。

そばカフェ生田村

北淡インター山側四キロ案内看板あり
TEL 079-74-1111
URL: http://kuramura-web.com/
営業日 土日・祝

懐かしい笑顔と過ごす
かけがえのない時間

再び出会えた喜びを分かち合う大切なひとときのために・・・。
優雅な空間演出、旬の味わいあふれるお料理、上質のおもてなし。
いつまでも心に残る思い出をウェスティンホテル淡路で。

ご宴会プランお1人様 6,000円から承ります。
※お得なフリードリンクプランもご用意しております。



THE WESTIN
RESORT & CONFERENCE CENTER
AWAJI ISLAND
JAPAN

ウェスティンホテル 淡路
〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台2番地 TEL 0799-74-1111(代表) FAX 0799-74-1100 http://www.westin-awaji.com

MITSUグループ

ミツ精機株式会社
ミツテック株式会社

淡路市下河合 301 番地
http://www.mitsu.co.jp/

絵を楽しむ

生穂出身神戸在住
砂田則一

(第十六回生)

小学三年頃から「少年画報」や「少年」「太陽」といった漫画雑誌に夢中になり、近所の悪ガキと一緒に車座になってよく読んでいた記憶がある。それらからは武士の決闘場面や颯爽と歩く姿などに興味をもち、また時あたかも天然色映画が出てきたこともありチャンバラ映画の感化も受け、よく鉛筆で模写したものである。特に岩田専太郎などの凄く挿絵には心をゆすぶられた、飽かず眺めていたのを思い出す。また同時に飛行機やロケット、未来の宇宙船などにも興味を持った。これは多分に、父が航空隊にいたのでそのアルバムの世界の飛行機の写真等に感化されたのだろう。飛行機や船もよく模写した。特に飛行機は両翼の位置関係のバランスが難しく、描いては消しの繰り返しで苦勞した思い出がある。学校の図工でのスケッチ

では、秋の稲を刈り取った後の風景などをよく描かされたが、その黄色やこげ茶色の処理がいつも巧いはず、いやいや描いていた記憶がある。逆に家並みなどは飛行機や船のスケッチの延長線上にあり、興味も湧き描きやすかったようである。中学では野球に忙がしく、あまり思い出しな。高校では美術部に所属はしていたが柔道の方が忙しくサボってばかりであったが三年の最後に自画像を描く宿題があり、仕方なく鉛筆画で提出すると、美術の先生がまじまじと私の顔と絵を眺め、うまいねえと言いつたのが印象に残っている。会社では入社即、愛知県に配属になり、机の前の先輩に絵画部に誘われ油彩の手ほどきを受けた。講師も居らず独学で競い合い、たまの一泊スケッチ旅行や年一回の社内作品展に出した。御嶽山や

信州清里、三重県大王崎などへの旅行が楽しかったのを覚えている。三十才頃まで描いていたが、結婚したり、仕事で忙しくなったりで絵筆が執れなくなった。定年近くなり、家内とはまた絵で始めたいなあと話しかつていたら、還暦祝いで油彩道具一式を戴いたのを契機に、友人やネットなどから現在の同好会（移情閣絵画同好会）改め現在は竹彩舎が見付かり入会し現在に至る。約二

十名ほどの同好会で、兵庫県でも著名な講師の先生が居られ、お話を面白くそれより先生の描く題材や色の使い方に強く魅かれていた。会員は殆どが高齢者、九十才の方でも居られ、私は若い方である。月二回の会では冗談も言いながら、ボケ防止も兼ねて楽しいものである。年一回のスケッチパス旅行もあり、また先生や会員と中国雲南麗江や韓国でもスケッチしてきた。家内にはその都度平身低頭。

個人的にはここ三年ほどは、春に一週間は車で寝泊りしながらの一人旅でスケッチ旅行：信州二回と四国一周、自分なりの傑作も出来たと：これ又行く時には家内を拝み倒して：幸か不幸か兵庫県美術家同盟及び明石市美術協会会員になつて。以上のような状況で、なんとボケないようと、また願わくば七十才頃になんとか個展でも開ければとの夢に向かって、目下絵三昧であります。

回想一流されて生きて、生かされる

片山 悟
(第二十九回生)

もう時効だから言ってもいいかと思ひます。三十四年前の津名高受験の日、私は前日の夜遊びがたたり、気分が悪くなり、もどしそうになって、試験が始まるやいなや保健室に連れて行かれました。だから試験はほとんど書けませんでした。「ラッセル車・・・」という問題だけは憶え

ていますが。発表までの三日間、もし落ちたら大工さんになって食べよう。そしていつか会社を作ろうと考えていたことを憶えています。ところが当時は内申書重視の兵庫方式という制度があったので運よく入学させて頂きました。高校三年間は、あつという間に過ぎ、進学が就

職かという岐路に立った時、さしたる目標もない私は進学を選びました。近畿大学の推薦入学案内が来ていたので受験勉強もしていなかった私は受けることにしました。寄付金要請があるのですんなり入るのです。思っていたのと違って英語と国語の試験がありました。国語の読みに「団欒」というのがあったのを憶えています。私は書けません。なんと合格したので、担任の藤本先生から「寄付金を振り

込んで入学手続きは必ずしておけ！」と言われてその通りにしました。十月か十一月頃だったと思います。翌年は年初からバイクで年賀状配達のアパートを回していましたが、交通事故を起こし「居眠りしてて車ぶつかったっていつたぶつに憶えています。」大腿骨折で県立淡路病院に四十日間入院することとなりました。もちろん他の私では受けられませんでしたし、受けても無駄だったと思います。藤本先生は病院にお見舞いに來られ、どつきりと卒業課題を置いていかれました。「入学手続きしておいてよかったのだろ！」。先生ありがとうございました。

近畿大学法学部には五年間在籍しました。就職活動のなんの準備もしていないのかと私は卒業の年、何社か面接試験を受けましたが全て落ちました。そして淡路に帰ってきました。どこに行くあてなく縁故採用で農協に入れたのでないです。予定外の入協で部署がないとは志半ばにこの世

部」に配置されました。当時は今では考えられないバブル景気で葬祭業は見向きもされな業界でした。そして私の配属場所の葬祭倉庫は窓際ではなく海際でした。それでも仕事についてからの私は水を得た魚のように八年間懸命に働きました。そして片山葬祭という会社を始めました。三十一歳の頃です。食えていたらいい、当時はそう思っていました。今では方々に葬祭ホールもできましたが、二十年前ぐらいまでは偏見の強い業界でしたので、農協以外には参入業者は高齢者の民間業者で、それも少数でした。また自宅での葬儀がほとんどでした。軽トラックに祭壇や花輪を積み連絡が入ると、家々へ走りまわりました。「入院できる病院もほとんどなく、家で亡くなる方が多かったのです」。今は状況が一変し、亡くなる方のほとんどは病院です。そして葬祭ホールで葬式をします。ある方は天寿を全うされ、微笑みのなかで涙で送られ、ある方は志半ばにこの世



を去り、号泣のなかのお別れになります。誰でも生きていくことはありえませんが、やりたいこと、できることを勇気をだしてすることが人生ではないでしょうか。最近のお葬式は段々と簡略化してきました。あと五年十年するとうなるでしょう。そのときでも私はいつものように霊柩車の運転をしていることでしょう。

津名ハイツ

〒656-2131 兵庫県淡路市志筑 162
TEL.0799-62-1561 FAX.0799-62-1562

祝 阪神支部創立 40 周年
(高十三回生)

笠山 恭昭
小久保 澄夫
田中 種義
中川 登勝
宝谷 能章
大谷 玲子
北野 佳代子
梁瀬 資子

津名いちさん会(ゴルフ同好会)
高十三回生

石上 勝美 五熊 詔一
上宮 峯男 奥村 徹二(新居)
木村 稔 柏谷 邦江(瀬合)
柴谷 英一 曾山 栄
高田 英憲 中來田吉紀
花崎 輝次 福本 昌司
藤田 克己 藤本 勝
堀 和明 松本 英志
水野 哲男 山本 幸平
藁田 昭代(柿原)

※五十首順

63 期生 (平成 24 年 3 月卒業) 進路状況

4 年制大学進学状況

大 学 名	合 格	進 学
神戸大学	1	1
兵庫教育大学	1	1
奈良女子大学	2	2
滋賀大学	1	1
広島大学	1	1
岡山大学	1	1
山口大学	1	1
鳥取大学	1	1
島根大学	1	1
徳島大学	3	2
香川大学	1	1
愛媛大学	1	1
高知大学	6	5
大分大学	1	1
国 立 大 学 合 計	22	20
兵庫県立大学	8	8
大阪市立大学	1	1
大阪府立大学	1	1
神戸市外国語大学	2	2
都留文科大学	1	1
高知工科大学	2	1
広島市立大学	1	1
県立広島大学	1	1
公 立 大 学 合 計	17	16
京都外国語大学	1	0
京都女子大学	6	2
京都橘大学	1	1
京都産業大学	14	6
京都薬科大学	2	1
佛教大学	3	1
兵庫医療大学	1	1
同志社女子大学	1	1
四天王寺大学	1	1
園田学園女子大学	1	1

短期大学進学状況

短 大 名	合 格	進 学
華頂短期大学	1	1
園田学園女子短期大学	1	1
夙川学園短期大学	3	1
大手前短期大学	1	1
武庫川女子大学短期大学部	11	4
湊川短期大学	2	2
神戸女子短期大学	16	6
神戸常盤大学短期大学部	1	1
聖和短期大学	1	1
芦屋学園短期大学	1	1
藍野大学短期大学部	1	0
関西外国語大学短期大学部	3	2
頌栄短期大学	1	1
短 大 合 計	43	22

専門学校進学状況

学 校 名	合 格	進 学
健康保険労働看護専門学校	1	1
兵庫県立淡路看護専門学校	5	2
相生市看護専門学校	1	0
社会保険神戸看護専門学校	1	1
神戸市医師会看護専門学校	1	1
西宮市医師会看護専門学校	1	1
関西労災看護専門学校	2	2
関西看護専門学校	1	1
兵庫歯科学院専門学校	1	1
徳島歯科学院専門学校	1	1
神戸医療福祉専門学校	1	1
神戸総合医療専門学校	4	3
近畿医療技術専門学校	2	1
関西総合リハビリテーション専門学校	3	3
大阪調理製菓専門学校	1	1
京都製菓技術専門学校	1	1
兵庫栄養調理製菓専門学校	2	2

学 校 名	合 格	進 学
京都伝統工芸大学校	1	1
京都建築大学校	1	1
大阪航空専門学校	2	2
大阪美術専門学校	1	1
大阪ブライダル専門学校	1	1
大原簿記専門学校神戸校	4	4
大阪医療秘書福祉専門学校	1	1
ECC 国際外語専門学校	1	1
ホスピタリティー専門学校大阪校	2	2
ヒューマンアカデミー	1	1
姫路経営医療専門学校	1	1
ESPエンタテインメント専門学校	1	1
専 門 学 校 合 計	46	40

就職状況

公務員種・会社名	合 格	就 職
兵庫県警察官	1	1
国家Ⅲ種 税務	1	1
徳島県警察官	1	0
淡路市役所	1	1
住友金属(株)鋼管カンパニー	2	2
川崎重工株式会社明石工場	1	1
日油株式会社 尼崎工場	1	1
(株) 平田工務店	1	1
ホテルニューアワジ(株)	3	3
ミツ精機株式会社	1	1
三洋エナジー東浦(株)	1	1
淡陽信用組合	1	1
財団法人淡路市ふるさと交流協会	1	1
青木外科整形外科	1	1
西中歯科医院	1	1
グランド理美容(株)	1	1
マスターズゴルフ倶楽部(株)	1	1
就 職 合 計	20	19

進路指導部より
六十三期生進路状況

六十三期生の進路状況をご報告させていただきます。

◆就職・公務員
民間就職に関しては、男子九名、女子七名の合計十六名の全員が内定を得ました。昨年に比べさらに求人数も少なく、激戦の就職戦線となりましたが、津名高生は十二分力を発揮し、期待に応えてくれました。

公務員試験は狭き門ですが、国家公務員Ⅲ種、淡路市職、兵庫県警に合格しました。

◆進学
国立大学の躍進
前年度、国立大学への進学者数が過去四十年間の中で最も多かったことを報告しましたが、六十三期生も負けないくらいの大きな成果を上げることができました。また六十二期生の鯛君が東京大学文科三類に合格しましたが、進路実現を目指す津名高生たちへの大きな励みになっています。

六十三期生は三年生になってから成績の伸びが顕著でした。自習室で切磋琢磨して学習する生徒も多く、私大や看護専門学校志望者も成果を残しました。

津名高校は学年と進路指導部が連携して、きめ細かく指導を行っている

津名高生
台風十五号ボランティア

昨年の台風十五号に伴う大雨の影響で志筑川が氾濫し、二五〇棟以上の家屋や店舗が浸水の被害が相次いだ志筑地区で九月二十二日、全校生約六〇〇人が水に浸った家具類の運搬などの活動を行いました。

二十三日には体育祭が実施される予定でしたが、地元の被害が大きいことから、三十日に延期し、二十一日をボランティアデーとしました。

生徒たちはグループ単位で、各々をまわって、片付け作業を申し出て、作業に取組

みましたが、「これはやりがいのある仕事で、達成感がある」と言う生徒もいて、全校生が熱心に清掃作業に取り組む姿が見られました。地元の方からも、感謝の言葉をかけていただいたり、感謝の手紙をいただいたりしました。

一部を紹介すると、男性の方からは「男子七名諸君に重いぬれ畳の持ち出し等御協力いただき、老人の事とてほんとうに助かりました。心より御礼申し上げます」。

また女性の方からは、「彼女達はいやがりもせず洗剤を使つてたくさんものを洗つてくださいました。

男子生徒さんたちは筆筒の移動や畳上げなど力仕事をしていたいただきました。彼らの骨おしめしなど熱心な仕事振りや気持ちの良い態度に心打たれ、本当に感謝で一杯です」とのお便りでした。

生徒たちは地元の皆様より温かいお言葉をかけていただき、自分が他の人に感謝され、役に立っていると感じていると思います。生徒たちにとってもかけがいのない経験となった一日でした。

祝 阪神支部創立四〇周年
十五回生 有志一同

前田 芳治
中野 淑郎
馬場 雅業(正和)
川合 利夫
北浦 重吉
溝尾 調一
山本 圭一
森岡 信昭
吉岡 重之次
川越 義次
瀧藤 徳男
佐藤 正文
(順不同)

阪神支部報発行に思うこと

東京支部長
岩井 吉人
(高十二回生)

阪神支部のみな
さんこんにちは！

来る七月二十三日、阪神支部設立四〇周年を迎えますこと、心よりお慶び申し上げます。

先日、小久保支部長から支部報第十七号(四〇周年記念号)を発行するにあたり、投稿のご依頼がありお受けしたものの、どのようなテーマを選べば良いのか思案に暮れていました。三十八年前、当時私が三十二歳の昭和四十九年、阪急宝塚線(確か売布神社駅)の松風閣で開催された阪神支部総会に出席した時が、阪神支部との関わり

の始まったこと。を思いだしました。そして、阪神淡路大震災の翌年の平成八年、当時の支部長本田卓夫氏(六回生・平成十八年ご逝去)から「震災で被災されました会員のお見舞いと安否確認のため、支部報を発行したいが、手伝って欲しい」との依

の後輩達が支部報発行編集委員に加わって、十七年間継続して今回の第十七号までを発行されたことは大変素晴らしいこと

であり、敬意を表します(このことは、洲本高校並びに三原高校東京支部役員の方々から、称讃の御言葉をいただきました)。

しかし毎年、資金面の調達には苦慮されているものと察します。また、支部報発行編集委員は支部会員の方々へ支部報を通じて、ふるさと・母校・同窓生の情報提供の強化と支部報紙面の充実を念頭に頑張っておられますこと、ご理解いただきまして、支部会費等へのご支援協力をお願い申し上げます。

私からこのようなお願いを申し述べるのは筋違いではないでしょうか、何卒ご寛容いただきたく存じます。

最後に、私、二年前より東京支部長を務めることとなりましたが、今年九月を目途に東京支部も、東京支部報第一号を発行することとなりました。なにか因縁めいたものを感じています。東京支部も阪神支部を模範にして頑張りますので、ご

七回生同窓会に

三十三名出席

宮岡 郁雄
(高七回生)

二年毎に開催していた同期の同窓会も年々体調不良(配偶者を含め)を理由に参加者が減少傾向にあつて、また、余生の見通しがだんだんはつ

費用
泊まり、
男性九〇〇〇円



きりしてきたなか、二年ごとと言わず、参加出来る者が数名でも)毎年同好会のかたちで集まる機会を持つよう従来の同窓会は三年後の喜寿に実施する(三〇分閉会)日帰り組(二名)は帰宅、泊まり

女性八〇〇〇円
日帰り、
男女四五〇〇円

九回生

同窓会に参加して

沖 正典
(高九回生)

組(二四名)は二十一時より二次会、和室にて肩寄せあつて、第一テーマ「健康と病氣」について一人ずつ発表の後、第二テーマ「我が国の政治・経済」をテーマに、第一はそれぞれ具体的体験事例の披露とあつて、(食事・ストレス・早期診断・ジエツト風呂・散歩)・第二は政治家の質・信頼を失った各政党(特に民主党)次回選挙は党より人・日本沈没・インフレは必至等、有意義なひと時を共有し、再会を約束して散会した。

反面、加齢のさびしさも感じました。誠に、少人数ではありますが、和やかに、陽気に、賑やかに、時の経つのを忘れて、懐かしく語り合い、楽しい思い出多いひと時を過ごす事が出来ました。又、別に思いを馳せま

十四回生同窓会の報告

南 正光
(高十四回生)

津名高等学校十四回生(昭和三八卒卒業)同窓会が、平成二十四年六月二日(日)にシースライドホテル舞子ビラ神戸で二年振りに開催されました。この同窓会も卒業後七回目の開催となり今回は開催時期を例年の秋から初夏に変更し少し趣きを変えました。

当日は常連の方、実に五〇年振りに初めて参加された方々総勢四十八名(男子三十一名、女子一八名)が参加いたしました。

舞子ビラ自慢の美味しい料理を酒肴に、学生時代の楽しかった思い出話や有志による近況報告、ビンゴ



ゲーム等々にぎやかにワイワイガヤガヤと多感な青春時代に帰ったかのように楽しい一日を過ごしました。

また、有志参加による二次会のカラオケ大会では、青春時代の歌、演歌、ナツメロ、デュエット等々レパートリー広く歌い上げ、加えて踊り、ダンス等々大いに盛り上がりまし

すと、物故者、居る方も、九期生の悲しい側面を物語っているようです。今までは、親や、配偶者の介護等の理由で、出席がままならずなかつたようですが、今回、欠席者の葉書の近況報告欄には、時と

第 15 回生 北陸 同窓会バス旅行のお誘い

十五回生の皆様お元気でお過ごしですか？

ある集まりで、一昨年の淡路島故郷旅行から二年を迎えましたので、「再度一泊旅行」をとの声もあり、「北陸・山中温泉」を計画いたしました。

この機会に、卒業後疎遠になってる友・親しき友との旧交を温めませんか。

高校時代の良き思い出・現在を語り合いませんか？

ぜひ、多くの同窓生の参加をお待ちしております。

詳しい案内は八月中旬頃にお送りいたします。

幹 事

北川 映子・中野 淑郎・佐藤 正文

記

概 略

旅行日

平成 24 年 10 月 23 日(火)
～ 10 月 24 日(水)

費 用

25,700 円

行 程

10 月 23 日(火)

神戸(8:30)～大阪(9:30)
敦賀～東尋坊～吉崎御坊
～山中温泉(泊)

10 月 24 日(水)

山中温泉～那谷寺～兼六園
～大阪(18:15)～神戸(19:15)

宿泊予定旅館

山中温泉・花つばき

問い合わせは：佐藤まで 携帯 090-3706-5180

第 13 回 卒業生同窓会開催のご案内

卒業から 50 年、また古希を迎えるに当たり久し振りの同窓会を、次の要領で開催いたしますので、ご案内申し上げます。ご多用とは存じますが、皆様お誘い合わせのうえ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成 24 年 10 月 23 日(火) 12 時から
(受付開始 11 時 30 分から)

場 所：シーサイドホテル舞子ビラ神戸
〒655-0047 神戸市垂水区東舞子 18-11
☎078-706-3711

会 費：10,000 円

その他：別途ご案内を 8 月中旬頃、各クラス世話役からご案内いたします。

同窓会開催準備委員代表

〒530-0035 大阪市北区同心 2-1-13-1009

☎06-4801-7616 携帯 090-2281-6525

石上 勝美(2 組)

阪神支部会費納入のお願い (年額 2,000 円、平成 24 年度分)

大ピンチです！！当支部年会費のお願い

阪神支部では、年に 1 回支部報を発行し、今回で第 17 号目の支部報を発行しました。

この発行に際しましては、全会員に対する郵送料を含め 1 回につき約 100 万円近くの費用が必要です。

そのため、支部報を発行する度に会員や各種団体の皆様からの賛助広告、そして 4% 近くの会員から振込まれる年会費などで何とか発行にこぎつけているのが現状で、このままでは今後年に 1 回発行していくことが極めて厳しい状況です。特にここ 1 両年は 90 周年の基金不足金を補てんしましたので火の車状態になっております。

しかし、会員の皆さん方に母校の現状をお知らせし、母校と会員の連絡を保つためにはこの支部報が唯一の手段ですので、何としてもこの支部報の発行は今後とも続けて行きたいと考えています。

つきましては、1 年間に 1 回 2,000 円の会費ですので、1 人でも多くの阪神支部の会員の皆さん方におかれまして支払っていただきますよう、伏してお願い申し上げます。

本支部報に同封しております「払込取扱票」又は銀行振込により納入して下さいますようお願いいたします。

★郵便振替口座

口座番号 00980-7-184478

口座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

★銀行振込ご利用の場合

銀行支店名 三井住友銀行池田支店

口座番号 普通預金 7169843

口座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

高校 5 回生同窓会の案内

日 時：平成 24 年 8 月 26 日(日)

場 所：ホテル神戸東急イン ☎078-291-0109

会 費：7,000 円

※阪神・本部総会に合流します。これが最後なのでぜひ参加！

連絡先：立花 和也 TEL・FAX078-731-3124

東京淡路 物産展

開かれる

去る二月二十九日より三月六日の一週間、東京日本橋プラザビルイベントスペースおよび都庁第一本庁舎「全国観光 PR コーナー」の二ヶ所で淡路市・淡路商工会等の主催による淡路市東京キャンペーンが開催されました。初めての企画で、おからの大雪にも負けずに始まった「あわ神、あわ姫」のキャラクターによる披露

露宴のイベントで会場は盛り上がり、品の玉ねぎ、浅草のり、わかめ、線香などが廉価で販売され、淡路島の魅力を振りまいていました。三月四日には、門市長も駆けつけ、会場近くの海鮮店で、津名高東京支部会が催された。盛りに上がりました。なお、淡路市を全国に宣伝するための市の観光政策課では五月二十三日から二十九日にも新宿の都庁で物産展を開催しました。

編集後記

十年一昔と申しますから、我々阪神支部の、いや津名高の卒業生の諸兄弟のみなさんの四十年は如何がでございましたか。昭和四十七年に産声を上げた阪神支部も今年で四十年を迎えました。自画自賛にはなりませんが、まずは目出度い。母校も志筑の街中から番匠ヶ丘の高台に移転して七年の歳月が流れてようとしている。隔世の感とはこの事を言うのか。当

支部報も十七号まで発行する事ができました。まさに継続は力なりけりかな。これも会員の皆様の温かいご支援の賜物と編集子一同感謝申し上げます。今後より一層紙面を充実させるため会員の皆様からいろいろ原稿を募っています。クラス同窓会の報告や案内、旅行記、詩歌等ジャンルは問いませんので、奮って応募してください。お待ちしております。日本のいや世界の何処に居られても津名高のことを脳裏に持つて頂ければ、ありがたい事です。今号より活字を大きくして高齢化に対処してみました。追伸 津名高の卒業生あてにスポーツ振興の名目で金銭の振り込みを要求する電話の勧誘があったらしいので、ご注意ください。

記

編集委員 田中 種義(委員長)

薄田 昌信(委員)

五熊 詔一(委員)

小久保 達夫(委員)

石田 孝子(委員)

梁瀬 寛子(委員)

南 正光(委員)

中野 映子(委員)

北川 映子(委員)

佐藤 正文(委員)

東田 雅彦(委員)

菅 数子(委員)

※()は卒業回生です。